

Informatica CLAIRE GPT

パワフルで AI ドリブンのデータマネジメント

自然言語のインターフェイスでデータ探索とデータマネジメントを合理化

データ利用者は、データを利用する際に多くの問題に直面します。特に顕著なのは、有用なデータに辿り着くまでに時間がかかることや、信頼できるデータにアクセスするのに苦労することが挙げられます。また技術的スキルを習得するための労力も必要です。多様な構造化照会言語 (SQL) や、C#、Java、Ruby、C++、PHP、JavaScript、Python などの多数のプログラミング言語と格闘しなければなりません。こうした言語を学習することは、生データを価値あるインサイトに変換し、データのライフサイクルをエンドツーエンドに管理する上で不可欠です。従来は、データの編集作業はデータエンジニアに大きく依存するコストのかかる作業でした。その結果、生まれたデータサイロは、最終的に各業務分野のスペシャリストの手に渡り、検証と微調整が行われることとなりますが、このプロセスのせいでコストは膨らみ、非効率で負担が大きく、リードタイムも長くなります。

さらに複雑なのは、データ量が増え続けていることです。データインサイトを必要とする組織が増える中、拡張性が成功の鍵となります。人工知能 (AI) と機械学習 (ML) は、データ分析のスケラビリティを支える新しいテクノロジーですが、その活用可否は、質の高いデータと、行動につながる分析を行うための技術的スキルセットの両方に大きく依存します。

2023 年 Directions イベントでの International Data Corporation (IDC) の発表

「2027年までに、G2000 諸国の 10% が "データからアクション" へのフィードバック・ループを体系的に導入し、データおよびコンテンツ・キャプチャと分析の ROI が他社よりも大幅に向上するでしょう。」^{*1}

^{*1} <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prAP50388823>

インフォマティカが提供する 40 ペタバイトの統合メタデータ・インテリジェンスである **CLAIRE**® は、**Informatica® Intelligent Data Management Cloud™** (IDMC) に自然言語 (NL) ベースの体験を実装しており、データの探索、統合、品質、ガバナンス、マスターデータマネジメントといったタスクを劇的に効率化することができます。インフォマティカの先駆的な AI エンジンである **CLAIRE** の生成 AI 搭載バージョンである **CLAIRE GPT** は、すべてのユーザーのデータマネジメントとデータ利用体験を向上させ、短期間でビジネスインサイトを強化することができます。

メリット

- データの利用者を支援し、データマネジメントのコストを削減
- 組織全体の生産性向上
- データパイプラインの作成を完全自動のワークフローで合理化

主な機能

AI 搭載のインサイト

インフォマティカの大規模言語モデル (LLM) によって、自然言語インターフェイスを介して、データカタログ内の利用可能なデータ資産を検索・探索することができます。CLAIRE GPT は、データマネジメントのオペレーションを簡素化、高速化、最適化し、データチームの生産性を飛躍的に向上させます。図 1 をご参照ください。



図 1 : CLAIRE GPT の自然言語インターフェイスの例
 Informatica Intelligent Data Management Cloud (IDMC) サービス全体で利用可能

安全なデータの翻訳と変換

図 2 に示すように、ユーザーは自然言語を使用して「テキスト入力から IDMC」へのインターフェイスでデータを操作し、管理することができます。また、複数のソース (例 : Snowflake、Databricks Delta Lake、Google BigQuery、Azure Synapse、Amazon Redshift など) で、マッピングやデータ品質ルール最初のドラフトを迅速に作成し、反復的なタスクを自動化することができます。CLAIRE GPT は、CLAIRE のモデルトレーニングのために、お客様の実際のデータにアクセスしたり、使用したりすることはありません。

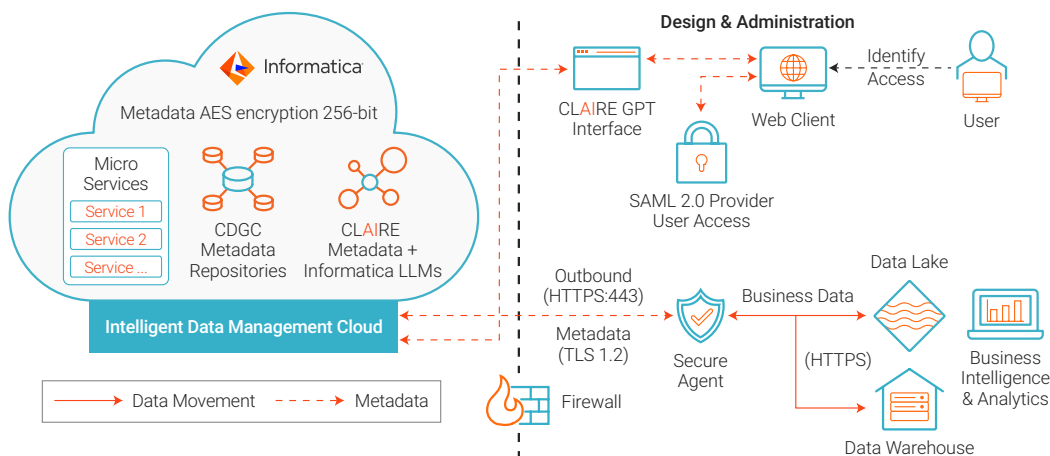


図 2 : CLAIRE GPT のセキュアなアーキテクチャ図

主な利点

データ利用者の支援とデータ管理コストの削減

CLAIRE GPT はシンプルで使いやすいインターフェイスであり、より多くの業務ユーザーや一般ユーザーが、専門的な知識がなくてもデータマネジメントに関わるタスクを遂行できるようになるため、利用推進を阻む壁を取り払うことができます。

組織全体の生産性向上

デバッグ、テスト、リファクタリング、ドキュメンテーションなどの反復的なタスクを自動化することにより、データの品質と透明性を向上させます。CLAIRE GPT があれば、データエンジニアはデータセットをすばやく探索し、データ品質の問題を見つけることができます。また、データパイプラインの文書化とテストにも役立ちます。

ワークフローの完全自動化でデータパイプライン作成を合理化

CLAIRE GPT は、タスクに必要な適切なデータセットを要件仕様から直接検出し、データパイプラインの最初のドラフトを生成します。CLAIRE GPT は、データマッピング、データ品質ルール、ガバナンス成果物を作成しますので、データチームはそれらを簡単に微調整できます。

主な機能

データパイプラインを生成し、同じソースインスタンス（例：Snowflake、Databricks Delta Lake、Google BigQuery、Azure Synapse、Amazon Redshift など）内のデータを変換します。次の手順に従って、自然言語の対話型インターフェイスで利用可能です：

- Informatica の LLM による自然言語インターフェイスを介して、データカタログで利用可能なデータ資産を検索および検出します。
- 関心のある資産のメタデータを探索し、データ品質や利害関係者、リネージ、ビジネスコンテキスト、データ分類、プロファイル情報を簡単なテキスト入力で調べることができます。
- 自然言語の指示によってデータを探索し、探索的データ分析（EDA）を実行し、データに関する質問をしてインサイトを見つけ出します。
- データパイプラインの最初のドラフトを生成し、同じソースインスタンス内のデータを変換します。
- 様々なインフォマティカ製品を理解し、それらを使用してデータマネジメントのタスクを実行する方法について、製品ヘルプに質問をすることができます。

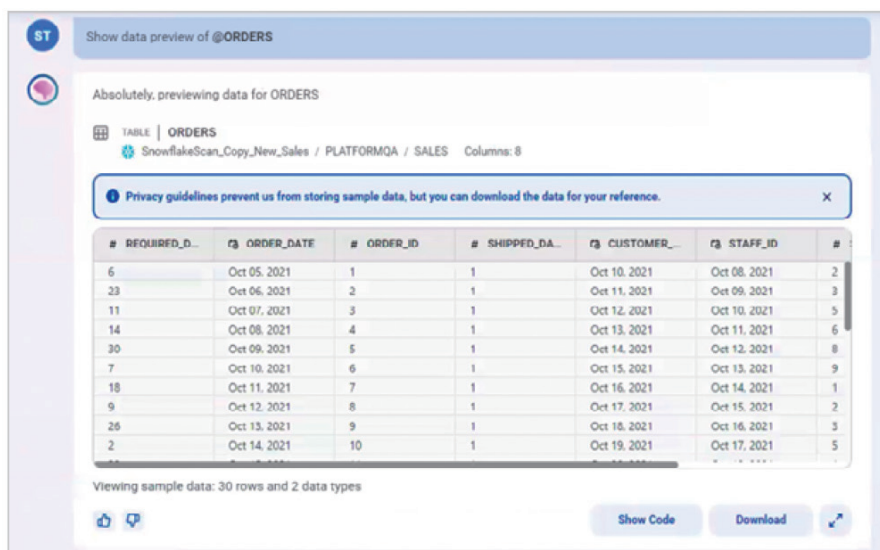


図 3：自然言語の単純なテキスト入力ですべての機能と容易に会話することが可能

Informatica CLAIRE GPT とデータ言語で話す

データマネジメントの主要なインターフェイスである CLAIRE GPT を使えば、ユーザーは「テキスト入力から IDMC」へのインターフェイスを介してデータを操作し、管理することができます。これにより、データマネジメント業務の簡素化、高速化、最適化が可能になり、データチームの生産性を大幅に向上させることができます。CLAIRE GPT の機能は、IDMC、BI ツール、AI ツール、組織内のソーシャルツール、ブラウザー、検索エンジンなどのコンテキストで利用可能であり、いつ、どこでデータを利用するかという個々のニーズに合わせたデータインテリジェンスを提供します。

詳しくはこちら

CLAIRE® GPT を実際に体験してみませんか？ 以下のリンクからデモをご覧ください。

<https://video.informatica.com/detail/video/6346086397112>

Where data & AI come to



インフォマティカ（NYSE：INFA）は、エンタープライズクラウドデータ管理をリードする企業であり、企業の最も重要な資産に潜在する変革力を引き出し、データと AI を甦らせます。インフォマティカが開発した新しいカテゴリーのソフトウェア「Informatica Intelligent Data Management Cloud™ (IDMC)」は、CLAIRE® AI を搭載したエンドツーエンドのデータ管理プラットフォームであり、マルチクラウドやハイブリッドクラウドなど、様々な環境に存在するデータを連携・管理・統合することで、データの民主化を通じてビジネス戦略をモダン化し、進化させます。Fortune100 のうちの 80 社を含む、100 カ国以上のお客様がインフォマティカを活用し、データ駆動型のデジタルトランスフォーメーションを推進しています。

インフォマティカ パートナー



インフォマティカ・ジャパン株式会社

〒105-6226 東京都港区愛宕 2-5-1
愛宕グリーンヒルズ MORI タワー26 階
電話：03-6403-7600(代表)

<http://www.informatica.com/jp/>

© Copyright Informatica LLC 2024. Informatica、Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html> をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。

第 1 刷発行：2024 年 8 月
U4605_ML1_CRAIRE GPT